

平成24年度弘前市市民参加型まちづくり1%システム 審査結果一覧（3次募集）

(No.1)

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	申請金額(円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		採択 可否	採択金額 (円)	採択項目・委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
1	継続	三和町会	農道維持管理事業	農業従事者の高齢化が進み、冬期間の枝切り等の作業が重労働となっているため、地域住民による除雪作業を実施し、農地までの移動を容易にする。また、農道の舗装が壊れている部分の補修作業も行い、地域の課題は町会が主体で取り組む自発的行動力を高めるきっかけづくりとする。	480,000	56.0	⑧将来的に広く波及効果が期待できる(2.5)	—	—	・農家の高齢化が進む中、冬期間の枝切等の作業が重労働となっており、農道除雪を地域で実施しなければいけないという課題は理解できる。 ・同じような問題を抱え、自己負担により枝線農道の除雪を実施している地域もあり、補助金に頼らず実施していく体制づくりを進めていく必要がある。 ・農道の枝線の除雪については、他の地域でも同様と考えられる。りんごの王国と言われながら、後継者不足や高齢化などの課題が山積する農業において、雪の問題は恒常的な問題であり、農業に関わる市の関係課が議論し、対策を検討する必要があるのでないか。
2	新規	常盤野町会	常盤野地域カメムシ駆除対策	近年、常盤野地区ではカメムシの異常発生が深刻化しており、観光面では宿泊施設内に入り込んだ大量のカメムシにより苦情が殺到しており、農業では嶽キミへの被害も報告されている。これまでの住民各自の対応では限りがあるため、地区内での一斉駆除を行い、被害の軽減を図る。	500,000	79.4	—	○	500,000	【対象経費】 消耗品費（カメムシ退治薬剤）
3	新規	特定非営利活動法人弘前総合舞台芸術研究所	弘前市民会館建築見学会Vol.1	弘前の観光資源「前川國男建築」の一つである弘前市民会館は、優れた音響効果も持ち多くの支持を得ている建物であるが、市民にとってはあまりに日常的な存在になり過ぎている。市民会館の存在価値を再発見し、舞台芸術や音楽鑑賞への視野を広め関心を高めるため、普段見ることができない舞台裏や奈落などを見学する「建築見学会」や音の響きの良さを体感する「ミニコンサート」を実施する。	424,000	48.2	—	—	—	・事業そのものは評価できるが、市民会館の無料開放期間「フリーパスウィーク」がまだ公表されていない段階で、この事業のみ対象とすることは不公平感を感じる。行政が主体となり実施すべきではないか。
4	継続	特定非営利活動法人五能線活性化倶楽部	近代化産業遺産として保存されるべきSL48640号機の再生保存事業	昨年、鱒ヶ沢町から弘南鉄道新里駅に移設した蒸気機関車48640号機の老朽化が激しいため、市民と全国からのボランティアが一体となり修繕作業を行う。また、親子で蒸気機関車の修理を学ぶ鉄道教室も併せて開催し、弘前の貴重な財産を自分たちで保存していく大切さを伝える。	500,000	83.1	—	○	500,000	【対象経費】 消耗品費（塗装ペンキ、塗装用具等）、燃料費（軽油等）、印刷製本費（鉄道教室・ボランティア募集パンフレット）、イベント保険料、賃借料（コンプレッサー、電気溶接機）、その他経費（デフ版加工費等）
5	継続	ごーびとぅーん 5-Between	充実！生きがいづくりパンフレット作成配布事業～弘前市内で生きがい見つけませんか？～	高齢者や障がい者が、活動できる場（ネットワークの形成の場）を見つけ、地域社会からの孤立防止や生きがい探しにつなげるため、趣味やスポーツ団体など市民活動団体の活動内容などを掲載したパンフレット「津na軽」を作成・配布し、高齢者や障がい者と市民活動団体とのマッチングを図る。	480,000	68.6	—	○	480,000	【対象経費】 消耗品費（アンケート用紙、封筒）、印刷製本費（パンフレット作成）、通信運搬費（切手代）
6	新規	第58回子供を守る文化会議・第1回青森の＜子育て・子育て＞ネットワーク会議実行委員会	第1回青森の＜子育て・子育て＞ネットワーク会議 交流会事業	第58回子供を守る文化会議・第1回青森の＜子育て・子育て＞ネットワーク会議が弘前市で開催され、県内や全国から子育て・子育ての活動をしている団体や個人が集う機会に、立場や職種を越えたネットワークを構築するための交流会を開催する。	104,000	75.0	—	○	104,000	【対象経費】 講師等謝礼（子育て・子育てトーク講師等）、交通費（講師用）、消耗品費（資料作成用紙、インク、マジック、名札）、印刷製本費（写真パネルプリント）、その他経費（看板製作等）
7	新規	四季をふむ会	嶽高原の『風のコンサート』事業	冬の岩木山麓の魅力を伝えるため、嶽高原で市民や観光客を対象に、津軽三味線の演奏やカマクラ内でのギター演奏に、トークを交えた『風のコンサート』を開催する。	385,000	81.5	—	○	385,000	【対象経費】 講師等謝礼（コンサート演者謝礼）、交通費（講師用）、消耗品（会場内横断看板、会場前立看板、開催案内捨看板等）、印刷製本費（ポスター、チラシ）、通信運搬費（ポスター送付切手等）、賃借料（軽トラック）、保険料
8	新規	弘前農村女性起業家巧みなマねっと	農村女性の技術技能を学ぶ市民ふれあい交流事業	弘前の農村女性起業家は、高い技術や農村ならではの食文化の継承を担っている人が多いが、その継承について担い手不足などの課題が多いため、弘前農村女性起業家と市民との交流事業を開催する。農村女性起業家の活動紹介や作品展示、食文化や高い技術を伝授することで、市民一人ひとりが継承の担い手であるという意識づけを図る。	208,000	83.6	—	○	208,000	【対象経費】 消耗品（資料作成用紙、インク、技術体験材料費）、印刷製本費（ポスター、チラシ、配布資料）、通信運搬費（ポスター・チラシ等送付、参加通知はがき）、保険料、使用料（会場、音響、映像設備等）、その他経費（会場案内看板製作費）

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	申請金額(円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		採択 可否	採択金額 (円)	採択項目・委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
9	継続	一般社団法人権利擁護あおい森ねっと	市民のための相談会開催と相談援助者のためのハンドブック作成事業	市民の身近な悩みについて法律と福祉の専門家がペアで相談を受ける「福祉と暮らしの相談会」を昨年度に引き続き開催する。また、日常的に市民から相談を受ける機関及び相談援助者を対象とした研修会の開催や相談ハンドブックを作成・配布することにより、市内相談機関・相談援助者のスキルアップとネットワーク化を図る。	500,000	84.0	—	○	500,000	【対象経費】 講師等謝礼（相談会相談員、研修会講師）、消耗品費（用紙、インク等）、印刷製本費（ハンドブック印刷代）、通信運搬費（切手、ハンドブック送料）、使用料（会場）、その他経費（スタッフ謝金）
10	新規	岩木山観光協会	岩木山南麓豪雪まつり	「雪と遊ぼう」をテーマに豪雪を活かした冬の岩木山ならではの内容のイベントを実施し、雪を楽しみながら過ごす機会を提供する。岩木山麓の各団体が協働作業により事業を実施することで冬場の地域活性化を図り、市民や観光客に岩木山麓が冬場も活気づいていることを知ってもらう。	500,000	81.5	—	○	500,000	【対象経費】 消耗品費（ペイント剤）、印刷製本費（ポスター、チラシ、会場案内図）、イベント保険料、賃借料（会場整備用除雪機）、その他経費（馬そり、雪上コンサート経費、照明・音響）
11	新規	乳井まちおこし協会	史跡里山環境美化活動	乳井町会内の史跡である茶臼館、ホテルが集まるため池が放棄され崩壊寸前の状態となっているため、沿道整備や護岸杭打ちなどの整備を行うことで、地域住民に地域の良さを再認識してもらい、愛着を高める。	68,000	93.6	—	○	68,000	【対象経費】 消耗品費（芝・下草刈替え刃、シリコン塗料、ハケ、ローラ器具、プラスチック製角杭、土止め用木材）、燃料費（2サイクル混合オイル）、保険料
12	新規	子育て支援隊「ま・まうんてん」の会	親力向上への支援事業「STEP勇気づけ子育てセミナー」	子どもと子育て家庭を取り巻く社会環境が大きく変化し、親子が共にふれあい過ごす時間が減少傾向にある中、子育てをしている人を対象に「STEP勇気づけ子育てセミナー」を開催することで、親力向上の為に知識や解決方、子育ての悩みや疑問の解消を図る。	277,000	55.9	—	—	—	・子育てについては、様々な団体が、様々な手法により取り組んでいるが、継続させることが難しい。今回活動を始められたことはとても大事なことであり、是非活動を続けていって欲しい。 ・事業に参加できる人数が12名に限定され、今後どのように展開し、活動を広げていくのか検討して欲しい。

平成24年度弘前市市民参加型まちづくり1%システム 審査結果一覧（1次採択事業・変更承認申請）

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	申請金額(円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		変更 承認 可否	採択金額 (円)	採択項目・委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
1	変更	CLAP（クラブ）	みんなで学ぼうバルーン&ジャグリング	【事業内容】 市内の各イベントに合わせて実施するバルーンとジャグリングのワークショップや、大道芸教室を開催し、多くの市民に、町会や保育園、児童館などの行事で活用できる程度の技術を習得してもらう。各イベントでの賑わいを創出すると共に、大道芸をコミュニケーションツールとして役立ててもらう。 【変更内容】 これまでバルーンやジャグリングのワークショップを開催してきたが、特にバルーンについては手軽に学べるということもあり、より高いレベルのワークショップを求める声が上がっているため、ワークショップを1回追加する。実施時期については、2月の「弘前雪明り」にあわせ、また会場である「まちなか情報センター」に、参加者と講師の作品を展示し、市民にもバルーンアートを楽しんでもらう。	【1次採択金額】 333,000 ↓ 【変更申請額】 500,000	74.1	—	○	500,000	【対象経費】（変更部分のみ） 講師謝礼（ワークショップ講師等）、交通費（講師用）、消耗品費（装飾用バルーン、ワークショップ用バルーン、シール、マジック、レッドポンプ）、印刷製本費（フライヤー）、使用料（会場）、賃借料（ワイヤレスヘッドマイク）

採点方法

- 採点は審査項目10項目について3段階評価とし、1人100点満点（10項目×10点）により評価を行う。
- 採点の結果、出席委員の平均点が60点未満の場合または各審査項目ごとに算出した平均点が3点未満となる項目がある場合は、補助金を交付できないものと判定する。

審査項目	
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている